

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肺癌 naI-IRI+5-FU/LV療法(infuser pump)	臨床区分	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	抗癌剤適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	登録日	2020年7月1日
疾患名	肺癌					1クール期間	14日
診療科名	消化器内科					実施回数	/回
登録医師名	野間 康宏						
適応	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な肺癌						

※ルートの接続は下部参照

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート※	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	ナリナドゥル用100単位/mL注射液 10mL	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用
3	生理食塩液 パロプセトロン静注用0.75mg デキサート注射液 6.6mg	100 1 1.5	mL 瓶 瓶	点滴静注	メイン	15min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	オニバイド前後ルート洗浄用
5	5%糖液 オニバイド点滴静注	500 50~70	mL mg/m2	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※投与前後、生理食塩液でフラッシュすること。 ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※単独で投与すること ※UGT1A1 *6若しくはUGT1A1 *28のホモ、又はヘテロの患者では、開始量を1回50mg/m <sup>2</sup> とすること。
6	5%糖液 レボホリナート点滴静注用	250 200	mL mg/m2	点滴静注	メイン	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※オニバイド終了後レボホリナート単独で投与すること
7	フルオロウラシル注 生理食塩液	2400 50	mg/m2 mL	持続点滴	メイン	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ 全量110mLで調製する。
8	ナリナドゥル用100単位/mL注射液 10mL	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9																	
10																	

**備考欄**  
オニバイド投与量設定のため、あらかじめUGT1A1を測定すること

**文献**  
Nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid in metastatic pancreatic cancer after previous gemcitabine-based therapy (NAPOLI-1): a global, randomised, open-label, phase 3 trial

**投与ルート（看護用）**  
メイン: フィルター付きルート使用、オニバイド以外はフィルターの後に接続  
側管: フィルターの後に接続。オニバイド投与  
※側管ルートの付け替え禁止

**減量・中止基準**  
【投与可能条件】  
好中球数 ≥ 1500/mm<sup>3</sup>以上  
血小板数 ≥ 10万/mm<sup>3</sup>以上  
下痢、その他副作用: Grade 1

【投与再開時の減量基準】  
好中球減少 Grade 3以上またはFN→naI-IRIおよび5-FUを1段階減量  
白血球数減少、血小板数減少、下痢: Grade 3以上→naI-IRIおよび5-FUを1段階減量  
悪心/嘔吐: Grade 3以上→naI-IRIを1段階減量する  
その他: Grade 3以上→naI-IRIおよび5-FUを1段階減量する

【減量方法】  
naI-IRI 70mg/m<sup>2</sup>→50mg/m<sup>2</sup>→43mg/m<sup>2</sup>→中止  
naI-IRI 50mg/m<sup>2</sup>→43mg/m<sup>2</sup>→35mg/m<sup>2</sup>→中止  
5-FU 2400mg/m<sup>2</sup>→1800mg/m<sup>2</sup>→1350mg/m<sup>2</sup>→中止

参照: がん化学療法レジメンハンドブック7版 p678-679